

平成30年度豊後大野市立千歳小学校 学校経営方針

学校教育目標	自他を認め、ともに育ち合う子どもの育成
目指す資質・能力	①目標設計・達成力 ②情報活用力 ③言語表現力 ④多面的・多角的思考力 ⑤課題解決力 ⑥協働力 ⑦郷土愛
小・中連携協働目標	自ら学び、たくましく、いのちを大切に作る児童・生徒を育てる
目指す子ども像	「か・が・や・け 千歳っ子」 かんがえる子、がんばりぬく子、やさしい子、けんこうな子

がんばりぬく子

- ・自分のめあてを持つ。・あきらめず最後までやりとげる。・課題や宿題に積極的に取り組む。・時間いっぱい黙ってそうじをする。
- ・後始末をする。・きまりや約束を守る。・人のために役立つことを進んでする。

かんがえる子	やさしい子	けんこうな子
<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習する。 ・人の話の内容を興味しながら聞く。 ・自分の思いや考えをもち、はっきりと発表する。 ・学習のきまりを守る。 ・読書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話をしっかり聞く。 ・相手より先に大きな声であいさつをする。 ・相手を気遣った優しい言動をする。 ・スリッパや靴をそろえる。 ・自他のよさを認め、互いに高め支え合う。 ・美しいものに感動し、自然・命・平和を大切にする。 ・感謝の気持ちをもち周りの人やふるさとを大事にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外で元気よく遊ぶ。 ・歩いて登校する。 ・好き嫌いをなく食べ、「食」に興味を持つ。 ・めあてを持って体を鍛え、体力を高める。 ・決まり正しい生活をする。 ・回りの危険に気づき、自分の命を守る。 ・健康に気をつけ、自分から歯を磨く。

学びづくりプロジェクト

ふれあいづくりプロジェクト

体づくりプロジェクト

基礎基本の学力を定着し、学習意欲の向上を図る	自他を認め、友だちと仲良くできる子の育成 【最重点目標】	健康の保持増進と体力向上を図る
<ul style="list-style-type: none"> ◎単元テスト等で正答率算数・国語6割以下の子を低5%・高10%以下にする。 ①UD活用によるわかる授業と環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ◇見通し&めあての明確化先回り指導で+評価 ◇課題設定や考えを持たせるアプローチの工夫 ◇自分の考えを言葉にして説明するペア学習 ◇道徳の授業を通して研究・検証 ◇互見授業・授業観察の充実(小・中合同) ②統一教材と短時間集中による算数UPの充実 <ul style="list-style-type: none"> ◇個々の「めあて」の明確化と+評価 ③全校への発表の場(個人・学年)を設定し、声を出す活動のとり組みを交流 <ul style="list-style-type: none"> ◇学期に1回全校や隣接学年で、読み声の交流 ④キャリア発達(夢)を意識した学習の意欲づけ ⑤宿題提出率100%をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> ◇チェックシートの活用等、保護者との連携 ⑥柔軟な少人数指導体制の実施 <ul style="list-style-type: none"> ◇4・5・6年算数における少人数or習熟度別指導 ⑦読書量の増加(平均110冊以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友だちに関わる児童アンケートでAB評価を90%以上にする。 ①なかよし班活動の充実。 <ul style="list-style-type: none"> ◇学期1回の全校児童集会の実施 ◇月1回のなかよし班遊び集会の実施 ②学級の仲間づくりの充実。 <ul style="list-style-type: none"> ◇週1回友だちを誘って遊ぶ ◇月1回の輝きUPでのSSTの具体化 ◇生活チェックカードで言葉遣いを振り返る。 ◇自他のいいところの可視化 ③道徳教育の実践研究 <ul style="list-style-type: none"> ◇学級課題を明確にした道徳教育の実践 ◇キャリア発達(自己実現)をめざした、生活や特別活動と連動した道徳授業 ④異年齢集団の交流 <ul style="list-style-type: none"> ◇小・中合同の学校行事による交流 ⑤挨拶・掃除・読声・読書等…褒める <ul style="list-style-type: none"> ◇学校を自らきれいにしようとする心育て。 ◇全教職員による掃除時間の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「晴れた日は外で遊んでいる」と答える子ども90%以上、給食後歯磨きする子100%にする。 ①体育授業の改善。 <ul style="list-style-type: none"> ◇毎回の授業で、握力・スタートダッシュ・縄跳びの準備運動 ②食育・歯磨き・ゲーム等規則正しい生活習慣を身に付けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ◇学期に1回「ピカピカタイム」の実施。 ◇歯磨きを重視したフツ化物洗口の実施。 ③学期毎に運動強化月間を設定。 <ul style="list-style-type: none"> ◇1学期:体カテストの練習の実施。運動会に向けた短距離走練習 ◇2学期:持久走練習(風の子タイム) ◇3学期:縄跳び練習(短縄・8の字) ◇キャリア発達を促す、めあてとふりかえりの徹底

郷土学の充実

千歳町に誇りと愛着を持つ子の育成

- ◎千歳町の自慢を学年の数だけ言える子100%
- ①千歳の文化や産業、名人等、地域に学ぶ問題解決型体験学習を各学年年間2回以上実施し、キャリア発達を促す。
- ②ゲストティチャー(各学級年1回以上)・学習サポーター(15人以上)の発掘し、活用していく。
- ③学んだことを地域・保護者へ発信し、学校・地域双方向の活性化を目指す。◇オープンスクールでの発表会・感謝の会実施

目標達成に向けた進捗状況の管理・把握

企画会議(月1)	校長・教頭・教務	運営委員会(第1水曜・第3月曜)	校長・教頭・教務主任・研究主任・生徒指導主任
プロジェクト会議(第2・5水曜)	学校関係者評価委員会(年3回)	地域代表・保護者代表・校長・教頭・教務・研究	

短期のPDCAサイクルの徹底(検証内容・方法の具体化と計画的実施)

- ・学校自己評価(教職員)と各種アンケート評価(児童・保護者・いじめ・生活目標・体力・校内研・授業・成績等)の連動
- ・プロジェクト会議と運営委員会が連動した検証活動の徹底による成果と課題の明確化

小・中連携

- ・児童生徒のキャリアを見通した教育活動・指導の系統化(9年間の連続した指導計画)・評価と進化
- ・連携担当を中心とした計画的・効率的・組織的な運営(3プロジェクトと「千歳っ子を育てる会」との連携)
- ・「道徳」の授業を核とした互見授業及び小・中合同校内研究の実施・計画的な小中相互乗り入れ授業
- ・教職員の意識の共有・小・中が一つとなる交流行事の実施

